



主要な農作物の生育情報

平成26年度 第7号

(平成26年10月3日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

出穂期は平年に比べ早まったものの、8月下旬から9月中旬にかけて気温が平年より低かったことから、登熟日数は平年に比べ長くなっています。

成熟期は、農業総合センターの調査では会津地域研究所と浜地域研究所で平年並み、本部で平年より1週間程度遅れました。

県内の刈取作業は始期が平年並み、9月30日現在の進捗率は24%であり、昨年同期(32%)より遅れています(農林事務所調べ)。

表1：水稲主要品種の成熟期と登熟日数(農業総合センター)

場 所	品 種	田植日 (月日)	成熟期			登熟日数		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (日)	平年 (日)	平年差 (日)
本 部 (郡 山)	ひとめぼれ	5.15	9.21	9.13	+8	49	39	+10
	コシヒカリ	5.15	10.1	9.24	+7	51	43	+8
会津地域研究所 (会津坂下)	ひとめぼれ	5.20	9.11	9.12	-1	42	40	+2
	コシヒカリ	5.20	9.20	9.20	±0	46	43	+3
浜地域研究所 (相 馬)	ひとめぼれ	5.9	9.10	9.12※	-2	42	39※	+3
	コシヒカリ	5.9	9.24	9.25※	-1	48	45※	+3

(※浜地域研究所の平年は前3ヵ年の平均値を示す。)

【野 菜】

1 きゅうり

ハウス抑制栽培は、9月の乾燥の影響により側枝の動きが鈍くなりましたが、概ね順調に生育しています。露地栽培は、8月中旬以降の低温・寡照及び9月の乾燥の影響等により草勢が低下し、収穫量の減少が見られましたが、遅まき栽培の導入や適切な栽培管理等により、平年並みの出荷量を確保したほ場が多く見られました。

2 夏秋トマト

摘心作業が平年並みの9月上旬に行われました。現在は生育後半となり気温の低下に伴い着色に時間を要していますが、多くのほ場で着果数が確保されています。

3 夏秋ピーマン

気温の低下に伴い果実肥大が遅くなっていますが、収穫は平年並みの10月中下旬まで行われる見込みです。

4 いちご

定植作業は夜冷育苗では平年並みの9月上旬に、普通育苗では9月中下旬に行われ、概ね順調に生育しています。生育の良好なほ場では、11月中旬頃から収穫が始まる見込みです。

【果 樹】

1 りんご

ア 果実肥大(果樹研究所 10月1日現在 暦日比較)

「ふじ」の縦径は102%、横径が104%とほぼ平年並みの状況です。（なお、現地のほ場における果実肥大もほぼ平年並みの状況です。）

イ 果実成熟

「ふじ」の成熟は、硬度が14.9ポンドで平年より低く、デンプン指数は3.6でデンプンの消失は平年より進んでいる状況です。

【花 き】

1 ストック

年内出荷の作型の定植は、平年並みの8月上旬から順次行われ、概ね順調に生育しています。

2 シクラメン

各地方ともに概ね順調に生育しています。出荷は平年並みの11月上旬から始まる見込みです。

【飼料作物】

牧草は、9月下旬から3番草の収穫が行われています。地域によっては降雨による2番草の刈遅れの影響で収量はやや少ない状況となっています。

飼料用とうもろこし及びWCS用稲は、収穫・調製作業が行われています。飼料用とうもろこしの収量は平年並みとなっています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも十分注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>